

翻訳：A PLACE OF REMEMBRANCE

追悼の場を憶う



190781193 神谷優太

第1章 世界的な高層商業地区

1節 ツインタワー

ア) 世界貿易センター: ニューヨーク屈指の存在感

i) 高さ402m以上

ii) 地下6階、約6,400m²

イ) ツインタワーはニューヨークのシンボリック存在

i) ロウアー・マンハッタンの不動産と5つの建物、
ツインタワー、市民プラザなど

ii) 各地のショッピングモールやレストラン、
地下鉄駅、官公庁など430以上のオフィス
→ ほぼすべての産業から構成



ウ) 勤務者：約50,000人

i) 内訳：ビル管理の労働者、電車の乗客、
買い物客、食事客

ii) 毎日の訪問者数は小都市と同等
→建物群は都市内の都市を形成
郵便番号は10048

2節 世界貿易センター計画(1950年代後半)

ア) ニューヨークのビジネスリーダー達

→ ロウアー・マンハッタン地区の商業ハブとしての
機能低下を警戒

イ) ダウンタウン・ロウアー・マンハッタン協会

→ デイビット・ロックフェラーが設立

ウ) 計画の目的

→ 経済成長促進

世界貿易の中心的な地位確保

包括的な都市再開発努力の中核化

3節 1964年世界貿易センターの建築主事：山崎實

ア) ロウアー・マンハッタンに大規模商業施設を建築

→目的：ニューヨークに様々な業種を集中

→私たちの時代には不可能な建築の可能性

i) 世界平和の記念碑という願望超越

ii) 人間の偉業達成の証拠

→人々は個人の尊厳、人々の協力を通じ、
人類の偉大さの発見能力が重要

イ) 世界貿易センター計画

→ 山崎とトップ技術者と建築科のチームが発

i) アルミニウム合金で被覆

正方形のトップのデザイン

各フロアに広大なスペース確保

タワーの構造: 建物の周囲を鋼柱で遮蔽

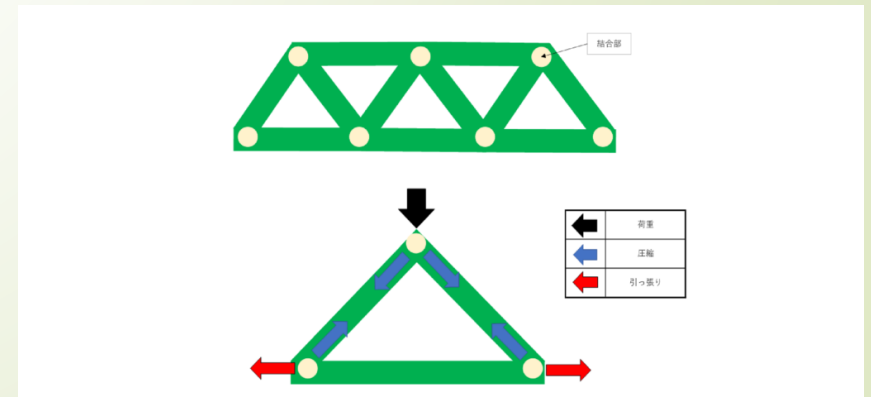
トラスが床を縦断、中心まで伸張して建築

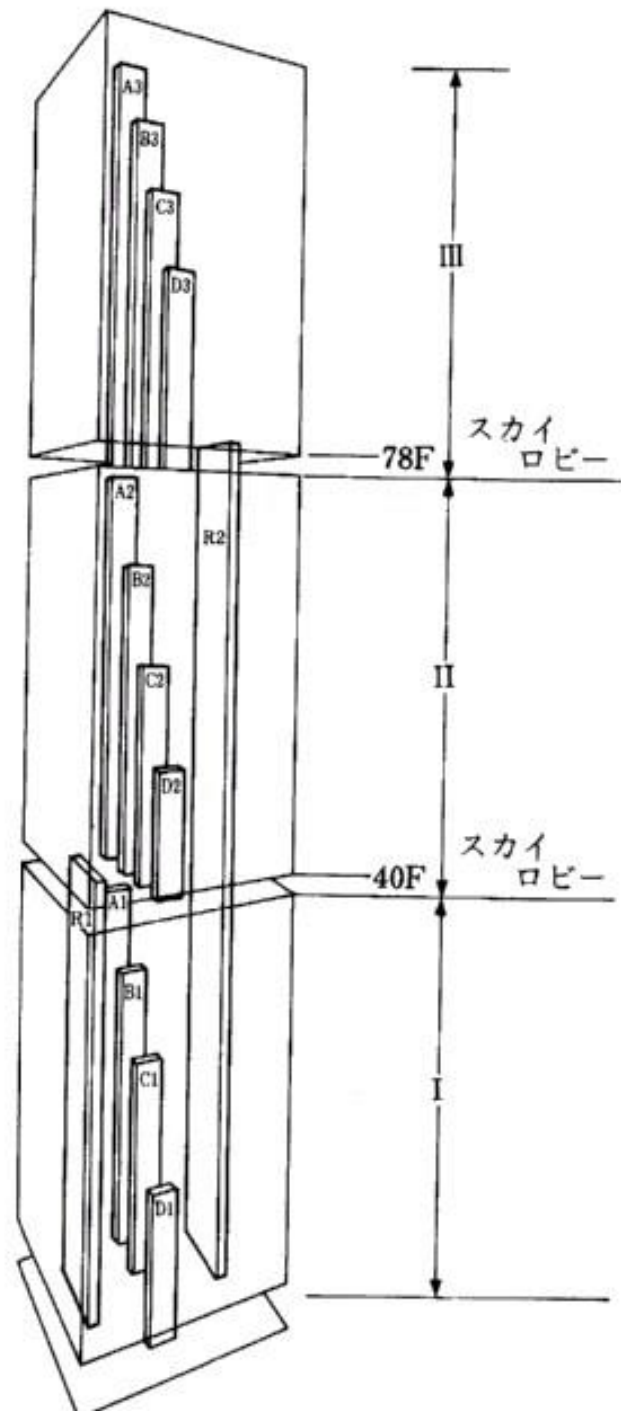
ii) タワーに99基のエレベーター設置

44階と78階のスカイロビー

→ 普通エレベーターと急行エレベーターを接続

革新的なエレベーターシステム





iii) 山崎のデザイン

→後にトライデントと呼称

アルミクラッド鋼の「ツリー」から

ゴシック様式のアーチ作成

鋼製の柱は5階から3本の支柱に分割

各建物の最上部まで伸張




4節 地階作成

ア) 約917,000m³の土が掘削

→マンハッタンの西海岸線拡張のために使用
バッテリーパークシティが誕生



- 
- i) マンハッタン島東側に約465,000m²の
オフィススペースを計画
→最終的に島の西側約1,115,000m²を確保
 - ii) このサイズ、規模、影響力の計画には反対者多数
 - iii) 建設予定地は「ラジオロウ」という電機部品街
→所有者は不動産買収阻止のため法廷闘争
→最終的に阻止失敗

イ) 港灣局は工事開始時に市長の承認必須

→1966年に選出のジョン・V・リンゼイ市長達は
不動産の港灣局への譲渡に否定的

i) 港灣局はウォーターフロント

再開発プロジェクトの基礎としての利用を提案

→廃棄予定の土でマンハッタン島を拡大

→バッテリーパークシティ誕生

5節 1966年8月掘削作業開始

ア) 土台作成で「バスタブ」という大規模な溝を作成

→壁には厚さ92cmの「スラリーウォール」建設

1,400本以上の「タイバック」で固定

→地下水の敷地内への浸透防止

i) タワーの大きさが勝利の源泉であり課題の1つ

シカゴのシアーズ・タワー完成まで全米一の座を維持

反対多数: ①周囲の環境に不一致

②非人間的サイズ


③地域の分断

④景観の優美さの損失

→世界経済のアイコンとして人々の心に残存

- イ) サウスタワー107階の展望台は人気観光スポット
 - 世界で最も高所の展望台で観光客の写真撮影の背景
 - i) ノースタワー106階と107階の有名なレストラン「ウィンドウズ・オン・ザ・ワールド」
 - 結婚式や宴会、会議、労働者の団欒の場
 - ii) ニューヨークの代名詞であるタワー
 - 映画やテレビ、絵はがきなど様々なシーンで登場



- 
- ウ) 港湾や海運業に商業的な関心保持企業の誘致計画
 - 様々な業種に営業活動を展開
 - 投資銀行、トレーダー、法律事務所、保険会社などの活動的な企業が賛同
 - i) WTCは世界で最も権威的な商業施設と認識
 - 人々にとってここでの勤務は「成功者」の意味

6節 世界貿易センター成功からテロの標的へ


ア) 1993年2月26日

テロリスト集団がノースタワー地下駐車場で爆破

犯人は導火線に点火後逃走

妊婦を含む6人が死亡



- 
- i) 多数の人々が勤務中、昼休みに攻撃実行
 - 爆発により停電、地下5階の深さのクレーター発生
 - ii) 生存者捜索中の地下は漏電の危険性
 - 地下の生存者保護のため電気停止
 - 建物の中の人々は暗闇で混乱
 - エレベーターに幽閉の人々も
 - iii) 救急隊到着後人々は避難開始
 - 階段は暗黒、煙が充満のため下降到時間消費
 - 煙がひどく、窓を割って新鮮な空気を吸う人も
 - 子供含む72人が1基のエレベーターに5時間幽閉
 - 展望台の観光客は煙の収束まで何時間も待機
 - 収束後下降を開始



イ) 港灣局貿易部の4人

「ウィンドウズ・オン・ザ・ワールド」の従業員
複合施設の訪問者1人の計6人死亡

i) 何百人もの人々が負傷

→多くの人々が心的外傷後ストレスに苦悩

ii) 街は震撼

しかしその夜タワーは団結と生存の証として点灯

→多大な努力を実施

ウ) 港湾局は被害修復に尽力

→ 電気と電話復旧

爆弾の破片除去

壁の煙の跡の清掃

3月には南棟が再開

州知事のマリオ・クオモ氏らも事務所に復帰

しかしこの復旧作業は1年半も継続

i) 事件を機にビルの安全対策は大幅に再検討


→ 構造、技術、運用強化に2億5,000万ドルを投資

新規セキュリティ手順と通知機能を導入

ii) 連邦捜査局 (FBI) は捜査開始

→ 爆破事件の翌週には犯人の1人を逮捕

テロリスト6人が裁判で終身刑



iii) FBI捜査官が犯人のハードディスクから手紙を発見

→世界貿易センタービルの安全は未達成と実感

①今回は我々の計算が不確実

②次回は確実な正確性を約束

③我々の要求未達

→WTCは我々の継続的目標と記載

7節 WTCは世界のシンボルとして成功

ア) 2001年には施設の稼働率がほぼ100%

施設内には十数社の政府機関がオフィス設置

バンクオ・オブ・アメリカ

メトロポリタン生命

ダン&ブラッドストリート

ユーロ・ブローカーズ

ドイツ銀行

第一勧業信託銀行など

i) 400社以上の企業がオフィス設置銀行

→「ワールドトレードセンター」の名に適当な
ビジネスが展開

ii) キャンター・フィッ ツジエラルド

→ノースタワー101階から105階にオフィス設置
高層階で威信を誇示

iii) 商業テナント

→地下コンコース、大量輸送機関、レストラン、
ショッピングセンター、医療、歯科医院、

児童デイケアセンターなどに直接アクセス可能

→新規セキュリティ手順と共に便利な職場環境提供

イ) 住人にとってWTCがコミュニティの中心地

→食料品の購入、外食、買い物、コンサートなどの
公共イベントに参加可能

北タワーではロウアー・マンハッタン文化委員会
提供のスタジオでアーティスト達が活動

ウ) 2001年7月24日世界貿易センタービルの譲渡

→ 賃貸契約によりシルバースタイン・プロパティーズ、
ウェストフィールド・アメリカンへ譲渡

→ ニューヨークの歴史上最も高額な不動産取引

i) それ以前は港湾局がこの施設を運営

→ 不動産事業から撤退

インフラ開発に集中の意向で取引成立

ii) 長期交渉の末シルバースタイン・プロパティーズ社
社長兼CEOのラリー・シルバースタイン氏叙述

① 夢の達成

② 私たちは貴重な資産の管理が可能


③ これほどのものは世界に非存在」

iii) わずか7週間後、世界貿易センターのバラ色の未来は
壊滅的な打撃

第2章 世界情勢が変化した日

1節 あの日の朝

- i) 2001年9月11日、アルカイダが飛行機をハイジャック
→米の主要建造物破壊の目的
- ii) アメリカン航空11便にハイジャック犯5人
→離陸15分後、乗務員と乗客を刺し制圧
→45分後、ワールド・トレード・センター北館に激突
- ii) ユナイテッド航空175便にハイジャック犯5人
→11便の激突と同時刻にハイジャックの報告
→9時過ぎ、ワールド・トレード・センター南館に激突

- 
- iii) アメリカン航空77便にハイジャック犯5人
 - 175便の飛行中にハイジャックの報告
 - 9時37分にペンタゴンに激突
 - iv) ユナイテッド航空93便にハイジャック犯4人
 - 乗務員と乗客でテロリストの制圧を敢行
 - 野原に墜落、乗客全員が死亡
 - 米国連邦議会議事堂への攻撃阻止に成功


この4機のハイジャック→乗客と建物内の大勢が死亡



ワールド・トレード・センター



ペンタゴン

- 
- 2節 9:00 連邦航空局 (FAA) と関係者がハイジャック判明
- ア) 9:05 ボストン航空管制センターがハイジャック確認
 - ニューヨーク空域を閉鎖
 - i) 9:25 FAAは全国的な地上待機命令
 - ii) 9:40 FAA全施設に着陸指示
 - 民間及び一般航空会社の4,500機の着陸に成功
 - イ) ペンタゴンへの攻撃は想定外
 - i) 77便が激突、廊下にジェット燃料が拡大
 - 地獄のような状況
 - ii) ペンタゴン西側正面が崩壊
 - 第一救助者が消火活動

3節 攻撃への対応

ア) ペンタゴンの5つの輪のうち3つが崩壊

→午後、ペンタゴンの西側正面が崩壊

i) 第一救護者と軍人が救援活動

→多数の被害者が重度の火傷

→治療優先順位割の5つの療養施設設置

ii) ペンタゴン内では

→ジェット燃料の火災拡大、地獄のような状況

iii) ドナルド・ラムズフェルド国防長官も救助活動参加

iv) 激突箇所が無人で耐爆性ガラスの為、被害の軽減

イ) ワールド・トレード・センターへの2度の激突

i) 8時46分、11便が北館93階～99階に激突

- ワールド・トレード・センターには多数の出勤者
- 3つの非常階段がすべて使用不可
- 強力な火災で消火活動不可の判断
- 救助と避難を第一任務

ii) 9時3分 175便が南館77階～85階に激突

- 2/3の非常階段が使用不可
- 北館と同様、多数の人が避難不可
- 北館と南館への激突で、テロだと断定

iii) 2度目の衝突から数分後、消防隊の追加動員

- タワーの階段から救助活動開始
- タワー内の一般人も参加、避難不可の人々を救助
- これらの活動の結果、何千人もの命を救助

iv) 南館は1つの階段が唯一の避難経路

→しかし、激突圏内以上の階で脱出はわずか18人

→直後タワーは崩壊、265マイル先まで地震波を観測

v) その後、FDNYの局長は北館からの避難を命令

→10時28分に北館も崩壊

ウ) 7WTCの崩壊

i) ツインタワー向かいのビルにも延焼

→午後遅くに47階建ての7WTCが崩壊

→避難完了のため、死傷者無し

→世界貿易センタービル跡地では夜通し搜索活動

4節 9月11日深夜、ニューヨークはほぼ閉鎖

- ア) 州知事のジョージ・E・パタキは州兵を動員
副大統領のリチャード・チェイニーは地下から避難
大統領のブッシュはエアフォース・ワンで避難
- イ) アメリカの主要観光地が避難
 - 民間航空機は史上初の国家的緊急地上停止措置
 - 疾病管理予防センターはバイオテロを警戒
 - 国防総省は最高レベルの警戒態勢を宣言
- ウ) 夕刻まで火災継続、周辺のビルも甚大な被害
 - エンスパイア・ステート・ビルディングは追悼の意を表し、無点灯

5節 アメリカと世界の対応

- ア) 世界中の政治的、宗教的指導者がこの攻撃を非難
 - i) 非友好国のリビア・キューバ・イランなども追悼の意
 - ii) ブッシュ大統領は国民に演説
→「偉大な国民が偉大な国家を守るために行動」

- イ) アメリカへの攻撃最大の犠牲者
 - i) 90カ国以上の2歳半～85歳の3,000人が死亡
→FDNYは343名の殉職者と3名の退職者
港灣局は37名の殉職者
ニューヨーク市警は23名の殉職者
→米国史上最大の緊急対応者の犠牲者

参照：[9.11同時多発テロから20年、グラウンド・ゼロ再建を振り返る](#) |

[Business Insider Japan](#)

[トラス | 包装設計と物流改善のアイロップ株式会社 \(ailop.co.jp\)](#)

[WTCエレベータ暴走 \(fc2.com\)](#)

[ワールドトレードセンター \(fc2.com\)](#)

[バッテリーパークの見どころ NYマンハッタン最南端ウォーターフロントにある絶景公園の観光スポット - Petite New York \(mikissh.com\)](#)

[September 10, 2001 at the World Trade Center's Windows on the World < Literary Hub \(lithub.com\)](#)

[1993年の世界貿易センター爆破事件は、ニューヨーク市の世界貿易センターに対するテロ攻撃であり、1993年2月26日、複合施設のノースタワーの下でトラック爆弾が爆発したときに行われました。 - 開けて悔しき玉手箱のブログ \(hatenablog.com\)](#)

[9/11 attacks: Deadly design flaws in Twin Towers | The Advertiser \(adelaidenow.com.au\)](#)

["It was an American Experience:" Colonel Mark Lewis's Survival at the Pentagon | National September 11 Memorial & Museum \(911memorial.org\)](#)